

編集後記

本号では、池田芳次前和歌山大学長に一昭和62年度の大学入試について一を御執筆いただきました。

国立大学入学者選抜研究連絡協議会第8回が盛大に行われ、公開ディスカッションでは、「大学入試と進路指導」と題し松井・野村両教授のもとパネラー諸氏の活発な意見が交わされ、同協議会の了解を得てその内容をここに掲載いたしました。

報告では、当センター鈴木助手が、在外研究員として昭和61年6月から昭和62年3月にかけて合衆国で研究した結果を「項目応用反応理論とテスト結果の診断」と題して掲載しました。

事例紹介では、昭和62年度の大学入学者選抜方法でA・B分割入試を行った大学として筑波大学、横浜国立大学経済学部的事例を、さらに、大学公開を行った大学として北海道大学、宇都宮大学、九州工業大学の広報活動の事例をそれぞれ紹介していただきました。

研究ノートでは、「解答の分析結果からみた問題の評価（日本史）・（化学）」を紹介願いました。また、当センターの岩坪助教授他から「入学志願者集団と合格者集団の5教科学力パターンについて」、岩田助手から「志願者の属性別にみた地理的選択の範囲」、藤芳助手から「身体に障害のある志願者の国公立大学受験状況」を、また、石塚助教授他から「2変量正規分布の理論による適正足切り倍率のシュミレーション研究」を公表しました。

本号の発刊にあたり、御多忙の中を寄稿いただきました、吉澤、岸本、吉田、大木、原田、加藤、熊本の諸先生に厚くお礼申し上げます。